

地域金融機関向け共同利用型勘定系サービス 「OptBAE」7金融機関で同時稼働

～ サービスプラットフォームの創生により地域経済の活性化を目指す ～

BIPROGYは、地域金融機関向け共同利用型勘定系サービス「OptBAE^{※1}（オプトベイ）」を7金融機関で同時稼働しました。

「OptBAE」は、2022年1月に西武信用金庫、京都中央信用金庫、同年10月に青木信用金庫、湘南信用金庫がサービスを開始しており、新たに2023年1月に、北海道信用金庫、室蘭信用金庫、旭川信用金庫、水戸信用金庫、横浜信用金庫、金沢信用金庫^{※2}、尼崎信用金庫^{※3}の7金融機関がサービスを開始しました。

なお、本サービスは11金融機関に加え、川崎信用金庫の採用が決定しています。

「OptBAE」は、地域金融機関のコスト最適化を実現するデジタル化を推進するとともに、デジタルとリアルを融合させた顧客接点の変革など、地域金融機関の営業力強化を支援します。

※1：banking system service Optimizing cost structure and as a Business Assist Engine

※2・※3：金沢信用金庫および尼崎信用金庫に対するサービス提供は、株式会社信西日本ソリューションセンター（SCWEST）との共同スキームにて実現しています。SCWESTは金沢信金、尼崎信金およびBIPROGYが共同出資しているシステムサービス会社です。

【背景】

近年、地域金融機関にとって、人口流出や事業承継、労働力確保など地域の課題が経営課題に直結する中、金融機関内のDXや地域活性化に貢献するDX活動を検討している金融機関は多数ありますが、金融機関のIT投資・IT人材は無限ではありません。これらの課題を解決するためには、コスト最適化を行い、新たな投資領域へ投資と人材をシフトする必要があります。

「OptBAE」は、これらの課題に対し、共通のプラットフォームを金融機関に提供することで、コスト最適化を行うとともに、IT人材リソースの共有と金融機関同士の交流を支援します。

【概要】

「OptBAE」は、アプリケーション、システム基盤、運用ファシリティを一貫した設計で、全てオープンプラットフォームで構築し、サービスメニュー化して提供しています。また、選択式のオプションサービスメニューを多数用意しており、地域金融機関の活動領域である地域の特性に合わせ、自社の戦略を反映しながら、共通のプラットフォームを利用することが可能です。

今回、各金融機関とBIPROGYは、共同の移行プロジェクト組成し2年という短期間で「OptBAE」への移行を実現しました。本移行においては5金融機関が「OptBAE」のアプリケーションを採用し、2金融機関が個々のアプリケーションを採用、さらにそれぞれの金融機関が戦略を反映したオプションを選択し、同時本番稼働しています。

【期待される効果】

「OptBAE」は共同利用型のオープンプラットフォーム勘定系サービスです。本サービス導入により、期待される効果は以下のとおりです。

1. データ利活用の促進

オープン系システムで構成しているため、さまざまなソリューションの活用やクラウドサービスとの連携が容易となります。「OptBAE」は、オンライン元帳情報を提供する機能を備えており、他情

報系システムから実時間に近い情報が参照可能です。これにより、各種情報系システムでのデータ利活用の幅が広がるとともに、新規機能を安全に開発することができます。

2. クラウドサービスとの親和性

クラウド上のオープン API プラットフォームである「Resonatex」を活用し、勘定系機能を API で公開することができます。これにより、勘定系システムが持つ機能やデータを外部と共有することができ、金融機関は容易に異業種サービスや SaaS と連携した金融サービスが提供可能となります。

3. ペーパーレスの促進

営業店づくり支援サービス「COCOMFY」の営業店タブレット取引を活用することにより、営業店事務の電子化・ペーパーレス化を推進することが可能となります。「COCOMFY」は、金融機関自身で各種手続きをノーコードで開発することができる機能を提供しており、金融機関の独自事務や情報の追加など柔軟に、迅速に対応することができます。

4. 金融機関同士の交流と知見の流通

ユーザー会を通じて、利用金融機関と機能強化・成長を議論することにより、金融機関が求めるサービス・機能をいち早く実現します。また、利用金融機関間のノウハウの共有や開発知財の流通、情報系システムの共同開発など、利用金融機関間における業務効率化の可能性を広げます。

5. 共同利用における移行オプションの提供

各種オプションサービスの利用により、現在ご利用いただいている媒体や、お客さまに提供している商品・サービスを継続可能とすることで、お客さまへの影響を最小限にし、勘定系システムの移行負荷を軽減します。

【今後の取り組み】

「OptBAE」は、地域金融機関が求められている、企業や生活者への価値を創出するサービス群や、地域企業を支援し、地域を活性化させるためのサービスや各種取り組みを順次提供し、地域金融機関をワンストップでサポートしていきます。

また、今後はクラウド基盤の採用を検討しており、さらに柔軟なシステム基盤とオープンデータや外部サービスとの接続性を高め、「OptBAE」としての価値を高めていきます。

BIPROGY は、引き続き地域金融機関の安定した経営基盤を提供し、さらなる技術革新に取り組んでいきます。

【SDGs 達成への貢献】

BIPROGY は、デジタルの力とビジネスエコシステムを活用した課題解決の仕組みづくりに取り組んでいます。「OptBAE」は、地域活性化に取り組む地域金融機関に勘定系サービスを提供していくことで、デジタル活用による金融機関の環境負荷軽減と地域経済の持続を支援し、SDGs 達成に貢献します。



以上

■ 関連リンク

- ・ 地域金融機関向け共同利用型勘定系サービス OptBAE
<https://www.biprogy.com/solution/lob/fs/optbae/>
- ・ オープン API 公開基盤 Resonatex
<https://www.biprogy.com/solution/lob/fs/resonatex/index.html>
- ・ 地域金融機関向け営業店づくり支援サービス COCOMFY
<https://www.biprogy.com/solution/lob/fs/cocomfy/index.html>

※OptBAE、Resonatex、COCOMFYは、BIPROGY株式会社の登録商標です。
※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、
あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/